

### 3.これまでのモニタリング調査結果概要

#### <試験施工地の選定>

試験施工地として「一条南橋上流地区」を選定

- ・当該地区は、平成7年から15年にかけてヤナギ類等の樹木やシナダレスズメガヤの生育が急速に進展。
- ・工事車両のアクセスや広大な試験区を設置できるだけの面積を確保。
- ・試験区1は、シナダレスズメガヤ抜き取り後に表土掘削を行い、試験区2は、シナダレスズメガヤの抜き取りのみを行い、除去方法の効果を検討した。

表 3.1 試験施工地の選定案

No.	地区名	密度の高い場所	密度の低い場所	明確なマウンドの有無	周辺の樹林地	工事車両のアクセス	広い面積の確保	過去に鳥類の繁殖の有無
a	第十堰下流地区 (13～14.5km)		×	×	×		×	
b	高瀬橋上下流地区 (17～19.5km)							コアシサシの集団繁殖地(H5,H6)
c	防災ステーション上流地区 (19～21.0km)				×	×	×	
d	一条南橋上下流地区 (21～22.0km)							コアシサシの集団繁殖地(H5,H6)
e	柿原堰下流地区 (23～24.2km)							コアシサシの集団繁殖地(H5)
f	川島橋上流地区 (28.6～29.6km)			×				サギ類の集団繁殖地(H4)
g	学島橋上下流地区 (31～32.0km)			×				サギ類の集団繁殖地(H12)
h	瀬詰大橋上下流地区 (35～36.2km)			×		×	×	
i	西村中島地区 (57～59.0km)			×		×	×	
j	河内谷川合流地区 (62～63.0km)	×		×		×	×	
k	角の浦橋上流地区 (64～64.5km)			×			×	

上記の地区では、近年コアシサシの繁殖は確認されていない。  
 :「ある」又は「よい」 :「ほぼある」又は「ほぼよい」 x:「ない」又は「悪い」



図 3.1 試験区位置図(一条南橋上流)



抜き取り前



抜き取り後

写真 3-1 試験施工 河原(抜き取り前後)

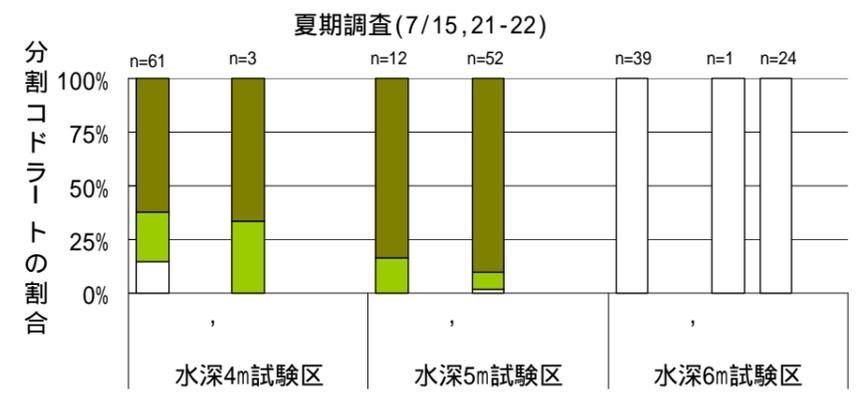
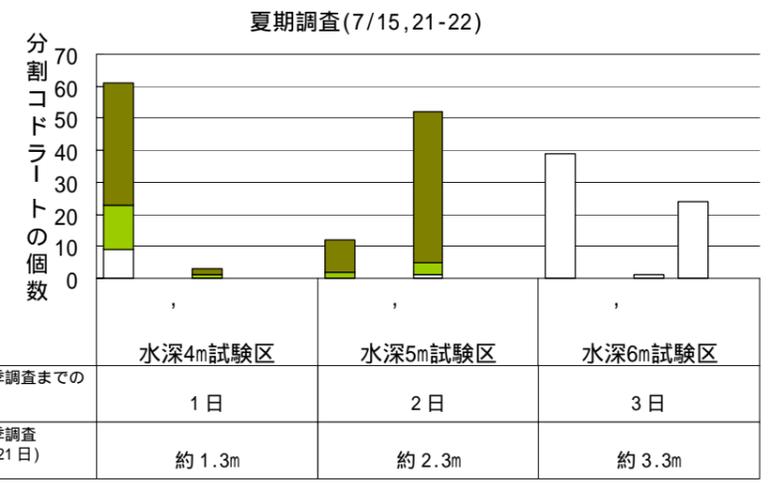
<シナダレスズメガヤの侵入・生育しにくい場の条件>

調査目的

洪水の冠水頻度、水深(比高)と河床材料の差異によるシナダレスズメガヤの侵入状況把握

調査結果

- ・シナダレスズメガヤは水深 6m 試験区(最大水深 3.3m)では確認されず、水深 4m、5m 試験区に侵入することが確認された。
- ・河床材料の粒径については、明確な傾向は確認されなかった。



分割コドラートあたりのシナダレスズメガヤの株数  
 :0株 :1~10株 :10株以上

河床材料の粒径階級基準  
 :粗礫(4mm d) :粗礫にマトリックスとしてシルト :細礫(2<d 4mm)  
 :砂(0.075<d 2mm) :シルト(d<0.075mm)

図 3.2 シナダレスズメガヤの試験調査結果

<減速要因のシナダレスズメガヤへの影響 >

調査目的

- ・ヤナギによるマウンドの形成状況、河床材料捕捉状況の把握
- ・ヤナギにより洪水流の減速効果がシナダレスズメガヤの侵入状況に与える影響把握

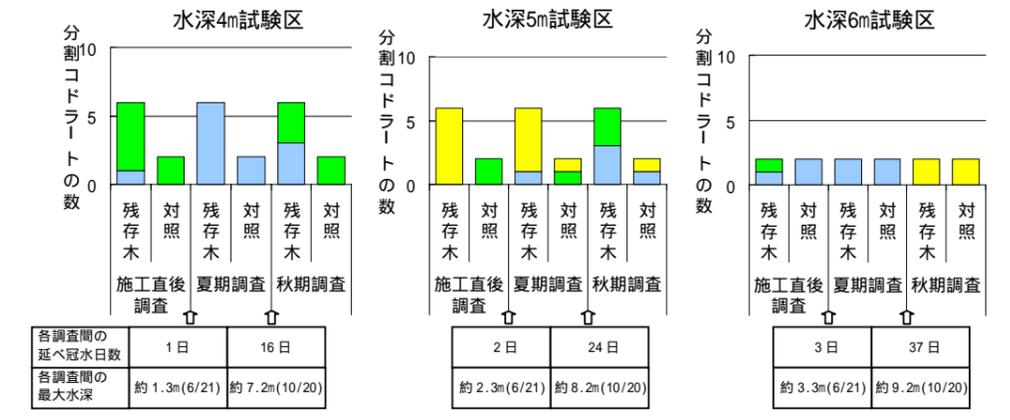


調査結果

- 1.マウンドの縦断面形状の変化
  - ・水深 6m 試験区ではマウンド形成が確認された。

2.残存木下流での河床材料とシナダレスズメガヤの侵入状況

- ・残存木コドラートと対照コドラートの比較において、河床材料の変化の違いに明確な傾向は確認されなかった。
- ・水深 5m 試験区においては、残存木コドラートでは、対照コドラートと比較して、顕著なシナダレスズメガヤの侵入が確認された。



河床材料の粒径階級基準  
 :粗礫(4mm d) :粗礫にマトリックスとしてシルト :細礫(2<d 4mm)  
 :砂(0.075<d 2mm) :シルト(d<0.075mm)

図 3.3 河床材料の比較

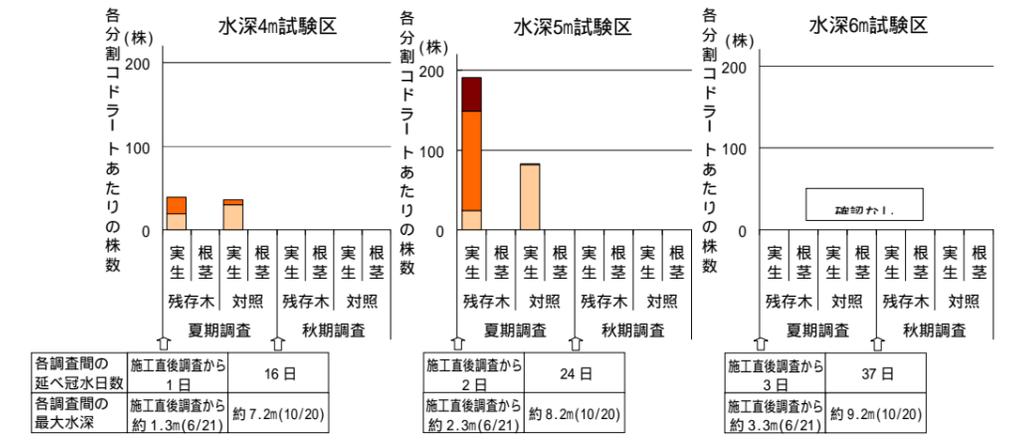


図 3.4 シナダレスズメガヤの自然高の比較

<減速要因のシナダレスズメガヤへの影響 >

調査目的

ヤナギ伐採後におけるマウンド及びシナダレスズメガヤの洪水による消失状況把握

調査結果

1.マウンドの縦断面形状の変化

・いずれのマウンドも9月調査時点で消失した。

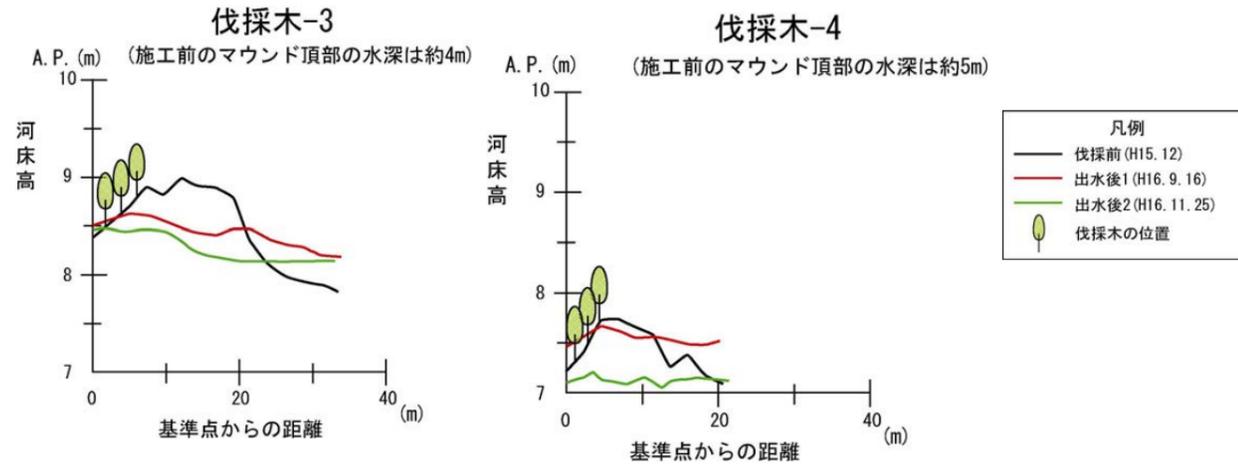


図 3.5 出水後のマウンドの変化

2.伐採木下流のシナダレスズメガヤの消失状況

・台風6号の出水後調査の夏季調査においては、シナダレスズメガヤは消失せず、その株数も減少しなかったが、その後の洪水においては全ての試験区においてマウンドとともに消失した。

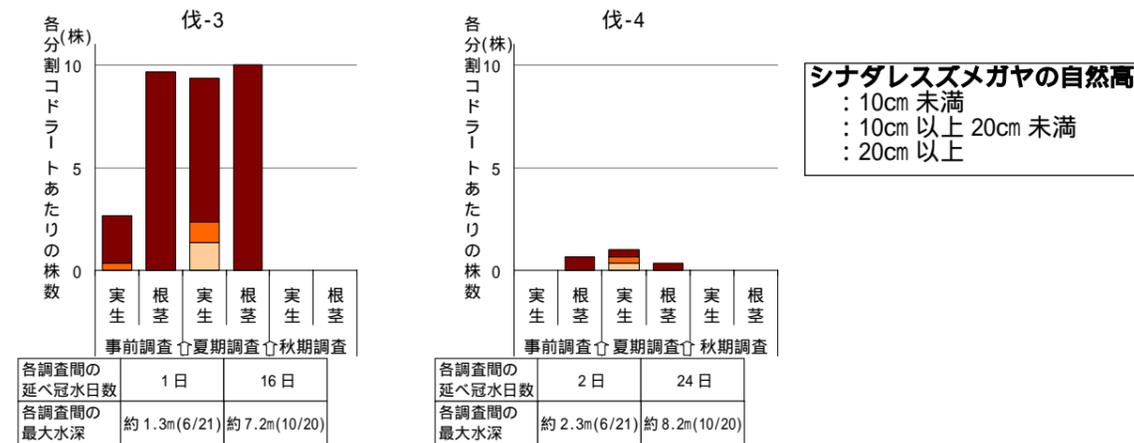


図 3.6 シナダレスズメガヤの出水後の自然高の変化